

能の出演者 Performer of Noh

1 シテ 物語の主役です。演出も行います。 2 ワキ シテの相手役です。 3 後見 舞台の監督役です。

4 地謡 謡のうち、シテやワキのセリフ以外の情景や心情を描いた部分を担当します。 5 囃子方 舞台上で楽器を演奏します。

アイ… 能の前後場の間をつなぐ狂言をアイ(間狂言)と呼びます。



T  
N  
H  
K  
H  
o  
s  
h  
o  
h  
e  
r  
a  
t  
e  
r

世界無形文化遺産 能楽

# 冬の観能の夕べ

今触れてほしい  
伝統文化が  
ここにある

字幕解説サービス「能サポ」のご案内

スマホや貸出タブレットを利用した字幕解説サービス「能サポ」を無料でご利用いただけます。字幕は日本語と英語での表示が可能です。なお、字幕解説は能のみとなります。



字幕解説サービス「能サポ」は事前にこちらのQRコードから「G・マーク」アプリ(無料)をダウンロードしてください。

「能楽堂散歩」を開催します!

能楽体験や能面の展示など、能楽を知り楽しめるプログラムを予定しております。

■日時: 2/7(金) 13:00~16:00  
3/7(金) 13:00~16:00

■会場: 石川県立能楽堂

※有料で実施いたします。  
※詳しくは石川県立能楽堂のホームページでお知らせします。

金沢能楽美術館 関連行事

「冬の観能の夕べ プレ講座〈全2回〉」

金沢能楽会の人気能楽師が、能の見どころを分かりやすく紹介します。

参加無料  
(要観覧料、要申込)

第1回	1/25(土) 10:30~11:30 講師:松田 若子 [解説演目:1/25、2/1、2/8の能]	第2回	3/1(土) 10:30~11:30 講師:佐野 玄宜 [解説演目:3/1、3/8の能]
-----	--	-----	--

■会場: 金沢能楽美術館 3階研修室(各回50名)  
■お申し込み・お問い合わせ: 金沢能楽美術館 TEL.076-220-2790

アフタートークのご案内

今回もアフタートークを開催します。ぜひご参加ください!

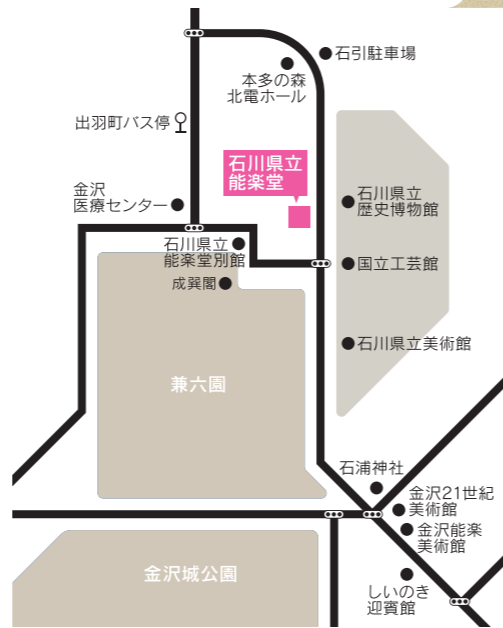
3/8(土)  
講師:佐野 玄宜、江野 泉、麦谷 暁夫

- 時間: 公演終了15分後より30分程度
- 料金: 無料(当日の鑑賞者に限ります)
- 会場: 見所
- お問い合わせ: 県立能楽堂 TEL.076-264-2598



石川県立能楽堂  
ホームページ

写真提供:(公社)金沢能楽会



金沢駅兼六園口(東口)6番のりば 北鉄バス 出羽町バス停より徒歩3分

土曜日開催  
全5回

2025  
1/25(土) ▶ 3/8(土)

14:30開演(13:30開場/16:00~16:30頃終了予定)  
※詳しい日程は中面をご覧ください。

各公演 / 1,500円 ※当日券同額 ※各回解説付き

チケットのお求め  
石川県立能楽堂(076-264-2598)  
石川県立音楽堂チケットボックス(076-232-8632)  
金沢能楽美術館(076-220-2790)  
香林坊大和プレイガイド(076-220-1332)



オンライン予約は  
こちらから

※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は各公演日の3日前までとなります。  
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。入場券は石川県立能楽堂でお求めください。

主催/いしかわの伝統文化活性化実行委員会

会場・お問い合わせ / 石川県立能楽堂 TEL&FAX:076-264-2598



国と県の補助により、お手ごろな料金で本格的な伝統芸能を特別にご鑑賞いただけます。

# 日本の伝統美と 幽玄の世界に浸る 世界最古の舞台芸術



## 能楽とは What's Nohgaku?

「能楽」は、継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、「能」と「狂言」から成ります。日本で最初にユネスコ無形文化遺産に登録された世界が認める伝統芸能です。

「能」では、笛や鼓による演奏と地謡と呼ばれるコーラス隊の謡にあわせて舞台上の人物が舞いながら物語を展開します。一方「狂言」は、庶民の日常生活を題材とした喜劇であり、会話を中心に物語が展開します。

## 石川県立能楽堂 Ishikawa Prefectural Noh Theater

能楽文化の保存・継承及び振興の拠点として、昭和47年全国初の独立した公立能楽堂として開館し、令和4年に50周年を迎えました。能舞台は、昭和7年に建てられた金沢能楽堂本舞台を移築したもので、国の有形文化財に登録されています。



石川県立能楽堂  
ホームページ



X

## 加賀宝生 Kaga Hosho

江戸時代、能は幕府の式楽となり、各地の藩でも能が盛んになりました。加賀藩前田家は能の宝生流(5流派の1つ)を手厚く保護・育成し、庶民にも広く推奨したことから、今では金沢といえば「加賀宝生」と言われるほど、発展を遂げています。



# 公演予定

Scheduled performance

1/25<sub>土</sub>

〈仕舞〉半<sup>しとみ</sup>薨<sup>クセ</sup> 島村 明宏

〈狂言〉盆<sup>ぼん</sup>山<sup>さん</sup> 清水 宗治

〈能〉玉<sup>たま</sup>葛<sup>かずら</sup> 佐野 弘宜

近年は盆山が流行しており、男は貧しくて盆山を所有できません。知人が豪華な盆山をたくさん所有しているので、男は知人宅へ行き盆山をこっそり盗みにいきますが…。

旅の僧は長谷寺へ向かう途中、女と出会う。女は「源氏物語」に登場する玉鬘ゆかりの地「二本の杉」へ僧を案内すると、玉鬘の数奇な運命を語り、自分は玉鬘の亡霊であるとほめかし姿を消す。その夜、僧のもとに玉鬘の亡霊が現れ、妄執に苦しみ狂い舞うが、やがて過去を懺悔し成仏する。



2/1<sub>土</sub>

〈仕舞〉藤<sup>ふじ</sup> 松田 若子

〈狂言〉梟<sup>ふくろ</sup>山<sup>やま</sup>伏<sup>おし</sup> 炭 哲男

〈能〉杜<sup>かき</sup>若<sup>つばた</sup> 高橋 憲正

山から帰った弟の様子がおかしく、兄は山伏に弟を治すよう頼みに行きました。弟が山で梟の巣にいたずらをしたという話を兄から聞いた山伏は、梟に取り憑かれたのだと察し、一心不乱に祈りますが…。

三河の国。杜若の見事さに見惚れる僧に、忽然と現れた里の女が語りかける。花のゆかり、業平の歌に詠みこまれた栄誉も知らせる。やがて、自分が杜若の精であることを明かし、鮮やかな装束、冠をまとして舞い、夜の白むとともに消え失せる。



2/8<sub>土</sub>

〈仕舞〉采<sup>うね</sup>女<sup>め</sup> 戴 俊彦

〈狂言〉歌<sup>うた</sup>争<sup>あらい</sup> 中尾 史生

〈能〉野<sup>の</sup>守<sup>もり</sup> 渡邊 茂人

男は友人と共に春の野辺に遊びに行き、友人は芍薬を見て歌を詠みます。男が笑うので友人は古歌を例に反論しますが男はさらに笑います。今度は土筆を見た男が歌を詠むと友人が笑うので、互いに嘲笑し合ううち相撲をすることになりますか…。

春日の里を訪れた山伏。どこからともなく現れた野守の老人は「野守の鏡」の謂れを語り、塚に消える。祈る山伏の前に大鏡を持った鬼が現れ、天界から地獄までの有様を見せるが、やがて大地を踏み破り去って行く。



3/1<sub>土</sub>

〈仕舞〉花<sup>か</sup>月<sup>げつ</sup> 福岡 聡子

〈狂言〉茶<sup>ちゃ</sup>壺<sup>つぼ</sup> 炭 光太郎

〈能〉田<sup>た</sup>村<sup>むら</sup> 葛野 りさ

酒に酔い茶壺を背負ったまま道端で寝込んでしまった男がいます。そこへ通りかかったすっぱが、茶壺を盗もうと肩紐に手をかけます。男が目覚めると、すっぱは自分の物だと主張しますが…。

清水寺を訪れた旅僧は箒を持った童子に出会う。僧が清水寺の来歴を尋ねると、童子は坂上田村丸による清水寺建立の由来や付近の名所を語る。童子に名を尋ねると、「わが行く方を見よ」と答え、坂の上の田村堂に消える。夜、僧のもとに坂上田村丸を名乗る霊が現れ、観音の助けで敵を退治した様を見せ、これも観音の御力によるものだと讃美して、霊は消えた。



3/8<sub>土</sub>

〈仕舞〉難<sup>なに</sup>波<sup>わ</sup> 高橋 右任

〈狂言〉仏<sup>ぶつ</sup>師<sup>し</sup> 能村 晶人

〈能〉卷<sup>まき</sup>絹<sup>きぬ</sup> 佐野 玄宜

堂を建立した田舎者は、中に安置する仏像を買い求めに都へ行くと、詐欺師が仏師と名乗り田舎者に近づきます。詐欺師は仏像の寸法や形を聞き、自ら仏像になりすまして騙そうとしますが…。

帝の命令で熊野権現に全国から巻絹が奉納される。都から絹を運ぶ男は、途中で音無天神に寄り和歌を奉納したため期限に遅れる。臣下が男を咎めていると音無天神が取り憑いた巫女が現れ、男を助けると、神憑りとなり激しく狂い舞う。

